

日本核物質管理学会のご紹介

日本核物質管理学会 事務局

柴田 修

Osamu Shibata

Deputy, Executive Director, INMM Japan Chapter

本発表では、日本核物質管理学会の設立目的、組織構成、活動内容等についてご紹介します。

【学会概要】

日本核物質管理学会（INMMJ: Institute of Nuclear Materials Management, Japan Chapter）は、米国にある核物質管理学会（INMM: Institute of Nuclear Materials Management）の日本支部として1977年に設立された、核不拡散、国際保障措置、計量・管理、核セキュリティ、輸送、および廃棄物処理・処分等の分野における専門家の集まりです。

INMMJは、3S（保障措置（Safeguards）・原子力安全（Safety）・核セキュリティ（Nuclear Security））の内、保障措置および核セキュリティ等の分野における技術の向上と人財の育成を目的に活動しています。

我が国が「原子力の平和利用」に向けて、「原子力施設の維持管理・廃止措置、核燃料サイクル、および関連分野の研究・開発・実用化」を安全に着実に進めるために、これからも引き続き、国内の関係機関に加え、INMM、ESARDA、IAEA等との連携を基に、INMMJの諸活動を進めたいと思います。

特に、学生を含め、将来の核物質等の管理と関連技術を支える研究者、技術者、管理者、および行政関係者の皆さんに、積極的にINMMJの活動に参加し、将来は、国内のみならず国際的な専門家として活躍することを希望します。

【学会の主な活動】

- ① 専門家による技術交流
- ② 対外連携の強化
- ③ 学生会員の活動支援
- ④ 広報活動の充実
- ⑤ 知見・経験の活用と伝承

【会員構成】

正会員、国内会員、学生会員、賛助会員

【組織構成】

理事会、企画委員会、年次大会プログラム委員会、広報委員会、メンター部会、学生部会

以上